

令和6年12月26日（木曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（厚生）

議会会議室

出席議員

白井義一、塚本進介、前川藤枝、常盤真功、
駒田かすみ、竹中隆一、東影 昭、大西陽介

出席高校生

飾磨高等学校 2人、姫路工業高等学校 4人、
姫路飾西高等学校 3人

開会 13時56分

委員長挨拶 13時56分

出席者紹介 13時59分

意見交換 14時01分

○個別テーマ

・高齢者のデジタル・ディバイド対策

「スマートフォンなどを身近に感じてもらうには」
（委員長）

現在、社会全体がデジタル化の流れにあり、本市でも様々な事業のデジタル化が進んでいる。一方で総務省の調査によるとスマホの所持率は70代で64.4%、80歳以上で28.5%にとどまり、スマホやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差、いわゆるデジタル・ディバイド対策は喫緊の課題になっている。

今日はスマートフォンが身近な存在である高校生と意見交換をしていきたい。

姫路飾西高校から資料に基づき、本テーマに関する提案をしたいとの申出を受けているので、説明を受けることとする。

【姫路飾西高等学校が資料に基づき説明】

（委員長）

姫路工業高校からも提案を受けたい。

【姫路工業高等学校の発表概要】

・市が行っているスマホ教室などの制度やサービスの周知が不十分ではないか。

・回覧板やポスターを利用し、周知の機会を増やしてはどうか。

・スマホのトラブルを恐れて利用しない人も多いはずなのでそれに対する対策も周知すればよい。

・加齢による指先感覚の鈍化や運動機能の低下により正確な操作が難しいのではないか。

・まず姫路市のウェブサイトが音や振動によるフィードバックなども含め、分かりやすく使いやすい仕組みにしてほしい。

（委員長）

飾磨高校からも提案を受けたい。

【飾磨高等学校の発表概要】

・スマホを使うことの楽しさを身近に感じられることが必要。

・サポートと言われても面白くない。

・飾磨高校の健康福祉コースでは妻鹿地域の高齢者の方を招いておしゃべり等をするイベントがある。そのようなイベントとして高校生が高齢の方にスマホの操作を教える機会があればいいのではないか。

（委員長）

先ほどの高校生からの提案について、議員から意見や感想はあるか。

（議員）

高校生で市の公式LINEに登録している人はいるか。

（高校生）

していない。

（議員）

誰もしていない。スマホ教室などを公式LINEでも周知を行っているが難しい。何か周知に関して提案はあるか。

（高校生）

チラシを作成しスーパーで配布してはどうか。

（高校生）

チラシや回覧板、ネットで周知しても見ない人は見ない。情報を知っている人が友人や知人に知らせたくなるような情報なら広まっていくと思う。

（高校生）

私の祖父母は孫と写真が撮りたいとスマホを購入した。そういった楽しみをチラシに書けばスマホに興味を持つことも増えるのではないか。

（高校生）

ポケットティッシュやお茶のパッケージのような身近なものに広告を掲載するのはどうか。

（高校生）

回覧板やチラシなど文字での周知ばかりだと感じる。地域の清掃など人の集まる場で呼びかけてはどうか。

(議員)

高齢の方は直接会っての付き合いや電話などが根付いておりデジタルに対して興味が引かれない人もいると思う。

発表の中で孫と写真が撮りたいという話があったがそれ以外でも例えばeスポーツで競争を楽しんでいるような人もいます。そのような高齢者が興味を持つようなスマホの使い方では何か提案はあるか。

(高校生)

直接高齢者に聞くことはできないのか。

(議員)

もちろん高齢者に直接意見を聞くことは大切であるが、先ほどの提案を考える中での発見や高校生の視点からの提案があれば聞きたい。

(高校生)

具体例は思いつかないが、スポーツなどの趣味とスマホが結びつければよいと思う。

(高校生)

高齢者の年金支給額が少ないというニュースを見たが、スマホで支給すればポイントで増額する仕組みがあれば興味を持つ人は多いと思う。

(議員)

詐欺やフェイクニュースなど、知識がなくスマホを持つことによるリスクについてはどう思うか。

(高校生)

高校生にとっては、あって当たり前なのでリスクという考えがあまりない。

(高校生)

知識がないとリスクがあるのは車や包丁などどんなものにも共通だと思う。

(議員)

私は70歳で、使っている人も使っていない人もいます。世代ですが、私はスマホほど便利な物もないと考えています。LINEや電子マネーもそうだが、どこでも原稿が書けたりニュースのチェックもできる。

若い人に使い方の指導をしてもらえればとてもよいことだと思う。

(議員)

今は70代でも70%近くの人がスマホを持っているがデジタル・ディバイド対策は今後いつまで必要だと思うか。

(高校生)

10年から20年は必要だと思う。

(議員)

スマホの登場から約15年で今の普及率であり、今後生活の一部になっていくため実際は数年ではないかと考えている。

(高校生)

スマートウォッチやVRのように、新しいものが次々に出ている。小規模化はしても、不必要にはならないのではないか。

(議員)

私もLINEなどは使えるが、初めて飲食店でQRコードを使って注文した時はやり方が分からなかった。教えてもらう機会が必要であり、高校生が教室のように教えるというのは非常によいと思う。

(議員)

民生委員のなり手不足の問題があり、高齢者の見守りが大変になっているが何か考えはあるか。

(高校生)

スマホで1日1回ボタンを押して安否確認する仕組みがあればいい。

(高校生)

ビーリアルという通知が来てから2分以内に写真を撮るアプリや位置情報の共有アプリなど若者が使っているアプリの操作を簡単にしたものを地域のコミュニケーション専用で作れないか。

(議員)

ビーリアルのように常に発信を求められるものにストレスは感じていないのか。

(高校生)

私は危険性を感じたのでやっていない。自分がストレスを感じないように取捨選択をすることは非常に重要だと思う。

(議員)

高齢者がスマホの中に自分のやりたいことを見つめるのが大事だと思うが、どうすればスマホを持っていない人に魅力を伝えることができると思うか。

(高校生)

スマホに抵抗がある人をどうこうするのは難しいと思う。周りの人が使っているのを見るなどで興味を持つことを待つしかないと思う。

(高校生)

スマホで困ることがあればやりたくなくなると思う。
面倒くささを減らすことが大事だと思う。

(高校生)

私の祖父母は健康のために歩いているが、歩くとポイントがためられるような、スマホを使って健康とお金をつなげるようなものがあれば興味を持つ人はいると思う。

(議員)

姫路市には65歳以上を対象に、脳トレやイベントに参加することでためることができるひめさんポというポイントがある。ただし、周知が進んでいない。どのように周知するのがいいと思うか。

(高校生)

携帯ショップでスマホを購入した高齢者に案内してもらうのがいいのではないかな。

(議員)

携帯ショップには依頼しているはずだが、新規購入だけが案内の対象になっていて機種変更の際には案内をしていないと思う。

(高校生)

町なかに広告が貼っていたりするのかな。

(議員)

していない。

(高校生)

ポイントをためるためのアプリは高校生でも利用できるのかな。

(議員)

脳トレなどではできるが、ポイントは65歳以上しかたまらない。

(高校生)

若い人が利用していないものが高齢者に広まるはずがないと思う。高校生などが利用すれば、話題にもなると思うし親や祖父母に広めていくこともできると思う。ターゲットの年齢層を幅広く設定してはどうか。

(議員)

このポイントは中高齢者の脳と体の健康維持を目的につくられたものである。ポイントの支給は65歳からにして、みんなの親世代から65歳までポイント自体は貯められるようにすれば興味を持つ人もいるはず。

周知の意味でも、幅広い人が活用していくことは市

でも検討すべきである。

(議員)

デジタル・ディバイドとは少し違うが、スマホは視覚障害者や聴覚障害者にとっては革新的なツールである。音声読み上げ機能などを使えば本を読んだり、コミュニケーションを取ったり今まではできなかったことが可能になっている。

そういった人がコミュニケーションに困っているようなことがあれば、ぜひお手伝いしてあげてほしい。

(委員長)

テーマに関する意見も出尽くしたと思うが、時間があるので議員や議会に対してどのようなイメージを持っていたか聞きたいと思う。

(高校生)

堅苦しいとか重いイメージだった。市をよくするには市民の意見を聞く必要があると思うが、そのような場があまり見受けられない。高校生だけでなく、様々な年代にこの座談会のような場を設け、市議会を活性化してもっと明るいイメージにしてほしい。

この座談会では思っていたよりも楽しく意見交換ができたので、このような市民が参加できる機会を増やしてほしいと感じた。

(議員)

他都市では議会報告会を行っている議会もある。意見を参考に検討したい。

(委員長)

議会や議員に関してでも市政に関することでも聞きたいことはないか。

(高校生)

姫路城の入城料を値上げするというニュースを見たが、どうしてそうなったのか。

(議員)

姫路城は世界遺産にも登録されている世界一の木造建築物であるが、維持管理にどうしてもお金がかかる。一方で、外国人からすれば入城料が1,000円というのはお城の価値に対して非常に安いのではないかという意見もあった。そこで市長が外国人だけの値上げを発言したことが大きなニュースになったものである。

それから議会でも議論を行い、令和7年第1回定例会で決定しようとしている。現時点では、値上げはやむを得ないが外国人だけを値上げするのではなく、市民

以外の入城料を2倍から3倍にして、子どもたちの入城料を無料にする。また、宿泊客は入場料を安くしたり、外国人観光客へのサービスをもっと充実させられないかといった議論を行っている。

(委員長)

本日は、主にデジタル・ディバイド対策について意見交換を行ったが、ひめさんポの告知をはじめ、様々なアイデアも出てきたので、担当課に伝えるとともに、市政に反映できるよう我々も頑張っていきたいと思う。

意見交換終了 **15時30分**

副委員長挨拶 **15時31分**

閉会 **15時32分**